

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和2年度 第1回米原市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和2年10月22日（木） 午後7時30分～午後8時45分
開 催 場 所	ルッチプラザ 健康ルーム
出 席 者	○田中 一郎、西林 正夫、中西 太、大谷 章、上田 洋平、 谷口 嘉之、北澤 あさこ、一ノ宮 賢了、富田 正子、谷口 絹代 （敬称略、順不同） ○生涯学習課（梶田課長、堀補佐、澤主幹、川村主任）
協議事項	1 開会 2 あいさつ 3 令和2年度年間行事予定 4 協議事項 5 その他 6 閉会
結論（決定した方針等）	議事録のとおり
協議経過 （主な質問、意見）	事務局）過半数以上の委員が出席のため、本会議の成立を報告。 1 開会 2 あいさつ 梶田課長より挨拶。 3 令和2年度年間行事予定【資料①】 事務局）資料①に基づいて説明。 4 協議事項 （1）令和元年度主要事業実施状況および成果と課題と令和2年度の事業内容【資料②】 事務局）資料②に基づいて説明。あわせて米原市学びあいステーションの概要についても説明。 （2）コミュニティ・スクール見学(伊吹山中学校)を終えて【資料③】 事務局）資料③に基づいて説明。 委員長）見学参加者の感想等を聞かせていただきたい。 委員）今年はコロナウイルス感染症の影響もあり、思うように事業が進められないようであった。会議の内容としては、校長と地域の人たちの思いがしっかりしており、両者の関係がよく、楽しく進められていた。

問題と感じたのは、委員に地域の主だった人が多く集められていたので、新しい人が入りづらいと思った。学校としてももっと地域の人に参加してほしいと思っているようだが、どのように入ってもらうかが課題だと感じた。

委員) 今までで一番良い会議だと思った。一時間半があつという間で、全くストレスに感じなかった。内容はもとより会議の進行が良かった。次第に時間が書かれていて時間通りに進行していた。意見や質問が途切れた時も、進行役が上手に話をつなげていた。

委員) 楽しかった。学校の活動は、子ども達のためにあるものだと思う。地域の人達が活動の中で、どのように子ども達のことを思っているのか知りたいと思った。昨年のふるさとウォークの様子も DVD で見たが生徒たちが楽しそうだった。ジュニア民生委員にも、たくさんの子供が参加されており、コミュニティ・スクールの成果が出ていると思う。

委員長) うまく進行を進めており、参考になった。ボランティアの参加率が高いことから成果が出ていると感じた。伊吹山中学校はコミュニティ・スクールとして成功しており、もう一か所他の学校を見学したいと思った。

委員) 報告書を読んだ感想としては、伊吹山中学校のコミュニティ・スクールは進んでいると感じた。来年コロナが落ち着いていたら、ふるさとウォークの参加者を増やしたいとの意気込みが伝わってきた。

委員) ジュニア民生委員の取組が素晴らしいと思った。コミュニティ・スクールの目的として、学校教育を豊かにするだけでなく、子どもたち力を地域に還元するのは理想形だと思った。

委員) コミュニティ・スクールは委員の人選が重要だと感じた。河南中学校の花いっぱい運動は生徒の参加は少ないが、地域の広がりを感じる。花いっぱい運動での花壇の種を欲しいという人がいた。そこでこの取組の話をして、地域の輪の広がりを感じた。

委員) そもそもふるさとウォークイベントの主催は学校ですか。

委員) 学校運営協議会の主催で行っている。役割としては、学校が主で進めている部分も大きいですが、将来的には協議会が主体となって行ってほしいと思っている。

事務局) 人選が重要だと話にもあったが、人選を今後どのように広げるかも大切だと思った。友達の友達を紹介してもらおうとか、地域の輪を広げることが必要だと思う。

委員) コミュニティ・スクールは文部科学省の推奨事業で、県内の学校では約半数が実施しており、米原市でも今年度から全小中学校で実施している。大東中も今年から行っているが、コロナウイルスの影響でまだ活動が

